

特集 アナリストの未来

座談会

拡張するアナリストの社会的役割

と き 2019年8月23日 (金)
ところ 日本証券アナリスト協会会議室

《出席者》(敬称略、五十音順)

関 篤 史 CMA

(武田薬品工業株式会社
グローバルファイナンス IR)

山 崎 雅 也 CMA

(野村證券株式会社 エクイティ・リサーチ部
エレクトロニクス・チーム・ヘッド)

山 本 高 稔 CMA

(株式会社日立製作所 社外取締役、
株式会社村田製作所 社外取締役、
東京エレクトロン株式会社 社外監査役)

《司会》

北 川 哲 雄

(青山学院大学名誉教授
首都大学東京 特任教授)

目 次

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 座談会の目的と問題意識 | 4. アナリストの活動領域の拡大 |
| 2. アナリストが置かれている現在の状況・環境認識 | 5. アナリストの社会的役割の再認識とキャリアパス |
| 3. 短期投資と長期投資 | 6. アナリストを志す人へのメッセージ |

1. 座談会の目的と問題意識

北川 当証券アナリストジャーナル誌でアナリストをテーマにした座談会を行うのは2012年10月

号以来である。当時の日経平均株価は1万円前後だったが、現在は企業収益が好調だったことやガバナンス改革が進んだことなどから、日経平均株価は2万円台で推移している。株価は上昇したが、